

基礎調査

平成 27 年度のがん検診実施体制について

ご署名欄 (ご回答の確認等ご連絡させていただく場合もございますので、必ずご記入ください。)

都道府県名	
市区町村名	
ご所属	
ご担当者名	
電話番号	
E-mail	

平成 27 年度のがん検診実施の有無と検査方法についてご回答ください

		回答欄									
		集団検診					個別検診				
		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
質問 1	各がん検診を実施していますか。 (実施している: 実施していない: x)										
質問 2	指針 に沿った検査方法で実施していますか。 (実施している: 実施していない: x)										

胃がん検診: 胃部エックス線検査
 大腸がん検診: 便潜血検査
 肺がん検診: 胸部エックス線検査及び高危険群への喀痰細胞診(この調査では、喀痰細胞診を実施していない場合も です。)
 乳がん検診: マンモグラフィ検査または、視触診・マンモ併用(この調査では、視触診を実施していない場合も です。)
 子宮頸がん検診: 細胞診

質問 1、または質問 2 が x の部位については、質問 3 以降の設問への回答は不要です。
 ただし、集団検診・個別検診のどちらかが になる場合には、質問 3 へもご回答ください。

平成 27 年度のがん検診の対象者の定義についてご回答ください

		回答欄				
		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
質問 3	貴市区町村におけるがん検診の対象者の定義について下記A～Gのうち該当するものを選択してください。					

スタート

1. 対象者を下記※1)①～④のように限定していますか?

回答を選択してください

限定していない → 次の質問へ

限定している → **G**

※1) 下記のいずれかに該当する者を限定し対象者としている

- ① 前年度受診者のみ、あるいは未受診者のみ等
- ② 希望調査で申し込みのあった者、もしくは事前登録者・希望者のみ
- ③ 節目年齢や働き盛り世代等
- ④ 乳がん・子宮頸がん検診では、年齢や生年を限定(偶数年齢のみ、生年が偶数年のみ等)

2. 対象者の年齢設定は下記のうちどれに該当しますか?

回答を選択してください

下限: 40歳(子宮は20歳) 上限: なし → 次の質問へ

下限: 40歳(子宮は20歳) 上限: あり → **C**

下限: 40歳(子宮は20歳)未満 上限: なし → **D**

下限: 40歳(子宮は20歳)未満 上限: あり → **E**

上記以外 → **F**

3. 40歳(子宮は20歳)以上の住民のうち下記※2)①～③に該当する者を対象者から除外していますか?

回答を選択してください

除外していない(指針通り) → **A**

除外している → **B**

※2) 下記のいずれかに該当する者を除外し対象者としている

- ① 職域検診等の受診機会があることが明らかな者(社会保険加入者本人や税特別徴収者、調査等による本人からの申告)
- ② 要介護認定者の受診困難者や、病気療養中の者
- ③ 国民健康保険加入者以外

調査 1 検診実施体制整備に関する調査（平成 27 年度実施体制）

外部機関（委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等）へ委託している項目については、委託先の状況をご確認の上ご回答ください。
 また、本調査での「検診機関」とは「個々の医療機関」を指します。検診を医師会に委託している場合は、個々の医療機関を1検診機関とみなしてご回答ください。

【1】検診対象者

平成 27 年度に実施した内容についてご回答ください。

各設問内容について、実際に実施した後に回答してください（実施予定での回答は不可です）。
 また、「今後実施する予定はあるが、現在はまだ時期が来ていないため実施していない」という場合は（未定）と回答するか、あるいは実施してから回答を提出してください。（の回答については1～2月に再度確認いたします。）

ご注意 ・複数の検診機関に委託している場合は、すべての検診機関で実施していなければ×です。
 ・外部機関（委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等）が実施している場合は、その内容を把握していなければ×です。

問 1-1 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか
 説明： 下記 に該当する場合のみ です。それ以外は×です。前年度受診者や希望者のみを名簿化している場合も×です。
 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者名簿（電子ファイルや紙）を作成している
 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者を保健（健康）管理システム等で管理している（抽出が可能である）

問 1-2 対象者に均等に受診勧奨を行っているか
 説明： 対象者全員（少なくとも 40～69 歳のすべて、子宮頸がん検診では 20～69 歳のすべて）に対し、個人毎に手紙・電話・訪問等で、検診の通知（希望調査も可）等の受診勧奨を行っている場合のみ です。
 ・世帯宛に検診の通知や希望調査等を送付している場合でも、世帯の中の対象者全員の名前が記載されていなければ×です。
 ・対象者のうち一部限定して受診勧奨を行っている場合は×です。
 （40～69 歳、子宮頸がん検診では 20～69 歳のすべての対象者に受診勧奨を行っている場合は です。）
 ・広報、チラシ、ポスター、イベント等による周知は×です。

問 1-3 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行っているか
 ・問 1-2 が×の場合は×です。
 ・未受診者のうち、対象を一部限定して行っている場合は×です。
 （40～69 歳、子宮頸がん検診では 20～69 歳のすべての未受診者に再受診勧奨を行っている場合は です。）
 ・受診者が定員数に満たない時のみに行っている場合は×です。
 ・広報・チラシ・ポスター・イベント等による周知は×です。

-----回答欄-----

	集団検診(平成 27 年度実施体制)					個別検診(平成 27 年度実施体制)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問 1-1										
問 1-2										
問 1-3										

[2] 受診者の情報管理

平成 27 年度に実施した内容についてご回答ください。

ご注意

・複数の検診機関に委託している場合は、すべての検診機関で実施していなければ×です。
 ・外部機関(委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等)が実施している場合は、その内容を把握していなければ×です。

問 2-1 対象者数(推計含む)を把握しているか

説明： 下記 のどちらかに該当する場合のみ です。それ以外は×です。

問 1-1 の対象者名簿に基づき、対象者数を把握している場合(実測値)

下記 A~D のいずれかの方法により対象者数を算定している場合(推計値)

- A. 「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成 20 年 3 月)に掲載の計算式を用いて対象者数を算出(1)
- B. 厚生労働省通知「市町村がん検診事業の充実強化について」(平成 21 年 3 月 18 日)に基づいて対象者数を算出
- C. 抽出住民へのアンケート等(国民生活基礎調査、国勢調査、都道府県独自の調査)により対象者数を算定
- D. 都道府県からの指導により独自の算出方法を用いて対象者数を算定

問 2-2 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか

説明： 個人毎の受診情報・検診結果・精検結果のすべてを受診(記録)台帳や保健(健康)管理システム等で記録している場合のみ です。それ以外は×です。

問 2-3 過去 3 年間の受診歴を記録しているか

説明： 個人毎の過去 3 年間(平成 24・25・26 年度)の受診情報が記録されている場合は です(当該年に初めて受診したもののについては除く)。それ以外は×です。

- ・単年度毎の記録が過去 3 年分であっても、個人毎の受診歴が把握できない場合は×です。
- ・保健(健康)管理システム等の導入時期等により、今年度はまだ過去 3 年間の受診歴が記録されていない場合は×です。

-----回答欄-----

	集団検診(平成 27 年度実施体制)					個別検診(平成 27 年度実施体制)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問 2-1										
問 2-2										
問 2-3										

1) 国立がん研究センターホームページ：がん情報サービス「がん登録・統計」(http://ganjoho.jp/reg_stat/index.html)に掲載

[3] 受診者もしくは要精検者への説明

平成 27 年度に実施した内容についてご回答ください。

ご注意 ・複数の検診機関に委託している場合は、すべての検診機関で実施していなければ×です。
 ・外部機関(委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等)が実施している場合は、その内容を把握していなければ×です。

問 3-1 検診の有効性・限界について事前に説明しているか

説明： 受診前に受診者全員に説明している場合は 〇 です。説明は持ち帰れるもの(チラシや受診案内等)に記載されていれば 〇 です。受診勧奨の際のハガキやリーフレットに記載されている場合は 〇 です。
 ・検診の有効性だけでなく限界(少なくとも偽陽性、偽陰性)について説明していなければ×です。
 ・問診票等持ち帰れないものに記載されている場合や、ポスター・広報誌・ホームページによる周知は×です。

問 3-2 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることについて事前に説明しているか

問 3-3 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか

問 3-4 検診結果(精検結果を含む)を市町村、検診機関、精密検査機関が把握(照会)することについて、また、個人情報の取り扱い、守秘義務などについて事前に説明しているか

問 3-2～問 3-4 共通

説明： 受診前に受診者全員に説明している場合は 〇 です。説明は持ち帰れるもの(チラシや受診案内等)に記載されていれば 〇 です。受診勧奨の際のハガキやリーフレットに記載されている場合は 〇 です。
 ・問診票等持ち帰れないものに記載されている場合や、ポスター・広報誌・ホームページによる周知は×です。

問 3-5 要精検者に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)を提示しているか

説明： 要精検者に精密検査の受診が可能な医療機関の一覧を提示している場合は 〇 です。
 ・精密検査機関が一つしかない場合は、その医療機関で精密検査を受診できることを伝えている場合は 〇 です。
 ・ホームページに掲載している場合は、ホームページに掲載していることを伝えている場合は 〇 です。

-----**回答欄**-----

	集団検診(平成 27 年度実施体制)					個別検診(平成 27 年度実施体制)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問 3-1										
問 3-2										
問 3-3										
問 3-4										
問 3-5										

[4] 精密検査結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨

平成 27 年度に実施した内容についてご回答ください。

各設問内容について、実際に実施した後に回答してください(実施予定での回答は不可です)。また、「今後実施する予定はあるが、現在はまだ時期が来っていないため実施していない」という場合は (未定)と回答するか、あるいは実施してから回答を提出してください。(の回答については1~2月に再度確認いたします。)

ご注意 ・複数の検診機関に委託している場合は、すべての検診機関で実施していなければ×です。
 ・外部機関(委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等)が実施している場合は、その内容を把握していなければ×です。

問 4-1 精密検査結果及び治療の結果を把握しているか

説明： あらかじめ平成 27 年度の精検受診者全員の精検結果を回収するための体制を作っている場合のみ です。それ以外は×です。

- 回収方法： 例 1) 精検機関から直接市区町村へ報告
 例 2) 検診機関が精検/治療結果について取りまとめ、市区町村に報告
 例 3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会への問合せ

問 4-1-1 精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への問い合わせにより結果を確認しているか

問 4-1-2 精密検査の検査方法を把握しているか

説明： あらかじめ平成 27 年度の精検受診者全員の精検方法を把握する体制を作り、個人毎に記録している場合のみ です。それ以外は×です。

- 把握方法： 例 1) 精検機関から直接市区町村へ報告
 例 2) 検診機関が精検/治療結果について取りまとめ、市区町村に報告
 例 3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会への問合せ

問 4-1-3 精検未受診と精検未把握を区別し、精検未受診者を特定しているか

説明： 平成 26 年度または平成 27 年度に要精検となった住民のうち、精密検査受診の有無がわからない方に対して、精検受診・精検未受診・精検未把握の定義(下記参照)に従って精検未受診者と精検未把握者を区別し、精検未受診者個人を特定している場合のみ です。それ以外は×です。

【精検受診・精検未受診・精検未把握の定義】(2)

精 検 受 診： 精検機関/検診機関/受診者からの報告、あるいは、精検機関/検診機関/受診者への問合せにより、精検日・受診機関・精検方法・精検結果が判明しているもの。受診したとしても、この4項目が判明しない場合は未把握

精 検 未 受 診： 精検機関/検診機関/受診者からの報告、あるいは、精検機関/検診機関/受診者への問合せにより、精検を受診しなかったことが判明しているもの。または不適切な精検方法(*)が実施されたもの

精 検 未 把 握： 精検受診と精検未受診に該当しないもの

(*) 不適切な精検方法：

大腸がん検診における便潜血検査の再検 / 肺がん検診における喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診の再検

問 4-2 精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか

説明： 平成 26 年度または平成 27 年度に要精検となった住民のうち、

問 4-1-3 で特定した精検未受診者全員に個人毎に精密検査の受診勧奨を行っている場合は です。また、精検受診の有無が不明な方全員に精密検査の受診勧奨を行っている場合も です。

・広報やチラシ等による周知のみの場合は×です。

-----回答欄-----

	集団検診(平成 27 年度実施体制)					個別検診(平成 27 年度実施体制)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問 4-1										
問 4-1-1										
問 4-1-2										
問 4-1-3										
問 4-2										

2) 「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書(平成 20 年 3 月)」の「精検受診・未把握、精検未受診の定義」(p38)より

[8] 検診機関へのフィードバック(課題の共有)

平成 27 年度に実施した内容についてご回答ください。

各設問内容について、実際に実施した後に回答してください(実施予定での回答は不可です)。また、「今後実施する予定はあるが、現在はまだ時期が来ていないため実施していない」という場合は (未定)と回答するか、あるいは実施してから回答を提出してください。(の回答については1~2月に再度確認いたします。)

ご注意 ・複数の検診機関に委託している場合は、すべての検診機関で実施していなければ×です。
 ・外部機関(委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等)が実施している場合は、その内容を把握していなければ×です。

問 8-1 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしているか

説明：平成 27 年度に、すべての検診機関に個々の精度管理評価結果をフィードバックしている場合は です。医師会を介してフィードバックを行う場合は、最終的に個々の検診機関に情報が届いていれば です。(評価結果の年度は問いません。)

問 8-1-1 検診機関の「検診機関用チェックリスト(※3) 遵守状況」の評価を個別にフィードバックしているか

説明：平成 27 年度に、すべての検診機関に個々の下記のチェックリストの評価結果をフィードバックしている場合は です。医師会を介してフィードバックを行う場合は、最終的に個々の検診機関に情報が届いていれば です。

- ・問 8-1 が×の場合は×です。
- ・評価結果の対象年度は問いません。

検診機関用チェックリスト 3 遵守状況の評価
 チェックリストの遵守項目数について市区町村で基準を設け、その検診機関が基準に達しているかどうか、あるいは、他の検診機関の遵守状況との比較を示したものと等。

問 8-1-2 検診機関のプロセス指標値の評価を個別にフィードバックしているか

説明：平成 27 年度に、すべての検診機関に個々のプロセス指標値の評価結果をフィードバックしている場合は です。医師会を介してフィードバックを行う場合は、最終的に個々の検診機関に情報が届いていれば です。

- ・問 8-1 が×の場合は×です。
- ・評価結果の対象年度は問いません。

プロセス指標値の評価
 要精検率、がん発見率、陽性反応適中度、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率を検診機関別に集計し、その検診機関の数値が目標値・許容値(4)、あるいは、全国値や他の検診機関との比較により適正であるかを示したものと等。

問 8-2 検診機関に精度管理上の課題をふまえた改善策をフィードバックしているか

説明：平成 27 年度に、精度管理評価の結果明らかになった課題に対し、すべての検診機関へ改善策をフィードバックしている場合は です。検診機関と課題を共有し改善策を講じている場合も です。

- ・問 8-1 が×の場合は×です。
- ・評価結果の対象年度は問いません。

-----**回答欄**-----

	集団検診(平成 27 年度実施体制)					個別検診(平成 27 年度実施体制)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問 8-1										
問 8-1-1										
問 8-1-2										
問 8-2										

3) 「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書(平成 20 年 3 月)」別添 7「事業評価のためのがん検診チェックリスト(検診機関用)」
 4) 「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書(平成 20 年 3 月)」別添 6「各がん検診に関する事業評価とそれぞれの許容値及び目標値」

次ページの【調査 2】へお進みください。

調査2 精度管理指標把握に関する調査（平成25年度プロセス指標値）

[9]～[18]では、平成26年度地域保健・健康増進事業報告（平成25年度検診結果）で計上したデータを基にそれぞれのプロセス指標値を把握している場合に、把握していない場合は×と回答してください。

各設問内容について、実際に実施した後に回答してください（実施予定での回答は不可です）。また、「今後実施する予定はあるが、現在はまだ時期が来ていないため実施していない」という場合は（未定）と回答するか、あるいは実施してから回答を提出してください。（の回答については1～2月に再度確認いたします。）

まずはじめに、平成25年度のがん検診の体制についてご回答ください。

		集団検診					個別検診				
		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
質問1	各がん検診を実施しましたか。 (実施している: 実施していない: ×)										
質問2	指針に沿った検査方法で実施しましたか。 (実施している: 実施していない: ×)										
胃がん検診: 胃部エックス線検査 大腸がん検診: 便潜血検査 肺がん検診: 胸部エックス線検査及び高危険群への喀痰細胞診(この調査では、喀痰細胞診を実施していない場合もです。) 乳がん検診: マンモグラフィ検査または、視触診・マンモ併用(この調査では、視触診を実施していない場合です。) 子宮頸がん検診: 細胞診 質問1、または質問2が×の部位については、[9]～[18]の設問への回答は不要です。											

共通【9】～【18】の注意事項

外部機関(1)が集計している場合は、そのデータの提供を受けていなければ×です。

1 委託検診機関や都道府県、医師会、または都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等
 集団検診/個別検診別に把握していなければ×です。
 集計は可能であっても実際には集計していない場合は×です。

性別・年齢階級別、検診機関別、検診受診歴別、検診方法別の把握については以下(1)～(4)をご参照のうえ正確に回答してください。

- 性別・年齢階級別の把握** 性別(胃がん・大腸がん・肺がん)、年齢階級別に把握すること
- 検診機関別の把握** 個々の検診機関・医療機関別に把握すること
 ・医師会を介して一括委託している等の場合でも、医師会単位ではなく個々の医療機関別に把握していなければ×です。
 ・検診機関が一つの場合は と回答してください。
- 検診受診歴別の把握** 初回受診者(2)・非初回受診者別に把握すること
 ・問診(受診者の申告)で受診歴を把握している場合は×です。
 2 初回受診者: 胃・大腸・乳・子宮頸がん検診は過去3年間、肺がん検診では前年度の受診歴がない者
- 検診方法別の把握**
 ・乳がん検診: マンモグラフィ単独、マンモグラフィおよび視触診併用の別に把握すること
 全員にマンモグラフィ単独のみ、あるいは全員に視触診・マンモグラフィ併用のみ実施している場合は と回答してください。
 ・肺がん検診: 胸部エックス線検査単独、胸部エックス線検査および喀痰細胞診(高危険群のみ)の別に把握すること
 喀痰細胞診を実施していない場合(全員に胸部エックス線検査しか実施していない場合)には と回答してください。

			回答欄									
			----- 集団検診 -----					----- 個別検診 -----				
			胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
[9] 受診者数	問9-1	受診者数の把握										
	問9-1が×の場合は、問9-1-1～問9-1-3は×になりますので回答は不要です。											
	問9-1-1	性別・年齢階級別の把握										
	問9-1-2	検診機関別の把握										
	問9-1-3	検診受診歴別の把握										
[10] 要精検率	問10-1	要精検率の把握										
	問10-1が×の場合は、問10-1-1～問10-1-3は×になりますので回答は不要です。											
	問10-1-1	性別・年齢階級別の把握										
	問10-1-2	検診機関別の把握										
	問10-1-3	検診受診歴別の把握										
[11] 精検受診率	問11-1	精検受診率の把握										
	問11-1が×の場合は、問11-1-1～問11-1-3は×になりますので回答は不要です。											
	問11-1-1	性別・年齢階級別の把握										
	問11-1-2	検診機関別の把握										

【18】 （子宮浸潤がん） 割合	問 18-1	微小浸潤がん割合の把握										
	問 18-1 が × の場合は、問 18-1-1～問 18-1-3 は × になりますので回答は不要で											
	問 18-1-1	性別・年齢階級別の把握										
	問 18-1-2	検診機関別の把握										
	問 18-1-3	検診受診歴別の把握										
微小浸潤がん割合：発見がん数に対する微小浸潤がん数 微小浸潤がん：病期 a1 および a2 期のもの												

プロセス指標値の年次推移 まとめ

		要精検率	発見率	PPV	精検受診率	未受診率	未把握率
胃	全国値の推移	・一貫して減少傾向 ・(H17 H24)10.5 8.5	・微増 ・(H17 H20 H24) 0.126 0.137 0.131	・増加傾向 ・(H17 H20 H24) 1.199 1.423 1.554	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 73.8 79.2 80.9	・H20年に著減、以降減少傾向 ・(H17 H20 H24) 14.8 10.1 9.8	・減少傾向 ・(H17 H20 H24) 11.4 10.7 9.4
	許容値以下の県数	(H17年 H24年) 12県 4県	(H17 H20 H24) 17県 14県 9県	(H17 H20 H24年) 12県 7県 2県	(H17 H20 H24) 12県 4県 2県	(H17 H20 H24) 8県 4県 1県	(H17 H20 H24) 19県 13県 14県
	直近の上位70%下限値	8.8%	0.12%	1.35%	79.4%	11.4%	8.5%
	(参考)現在の許容値	11%以下	0.11%以上	1.0%以上	70%以上	20%以下	10%以下
大腸	全国値	・ほぼ一定 ・(H17 H24)6.6 6.6	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 0.15 0.19 0.21	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 2.245 2.879 3.206	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 55.7 64.5 65.9	・H20年に著減、以降減少傾向 ・(H17 H20 H24) 24.9 17.6 17.0	・H20年に著減、以降安定せず(微増・微減) ・(H17 H20 H24) 19.3 18.0 17.1
	許容値以下の県数	(H17年 H24年) 14県 10県	(H17 H20 H24) 17県 4県 1県	(H17 H20 H24年) 12県 2県 1県	(H17 H20 H24) 40県 22県 22県	(H17 H20 H24) 32県 17県 11県	(H17 H20 H24) 25県 26県 26県
	直近の上位70%下限値	6.9%	0.18%	2.84%	66.2%	19.4%	16.8%
	(参考)現在の許容値	7%以下	0.13%以上	1.9%以上	70%以上	20%以下	10%以下
肺	全国値の推移	・ほぼ一定 ・(H17 H24)2.4 2.2	・H20年に著増、以降ほぼ一定 ・(H17 H20 H24) 0.036 0.045 0.046	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 1.486 1.777 2.111	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 72.1 75.9 79.1	・H20年に著減、以降減少傾向 ・(H17 H20 H24) 14.6 10.8 8.7	・減少傾向 ・(H17 H20 H24) 13.3 13.3 12.1
	許容値以下の県数	(H17年 H24年) 14県 7県	(H17 H20 H24) 13県 3県 8県	(H17 H20 H24年) 15県 7県 6県	(H17 H20 H24) 11県 10県 4県	(H17 H20 H24) 6県 5県 1県	(H17 H20 H24) 17県 17県 17県
	直近の上位70%下限値	2.5%	0.04%	1.71%	76.9%	10.8%	10.7%
	(参考)現在の許容値	3%以下	0.03%以上	1.3%以上	70%以上	20%以下	10%以下
乳	全国値の推移	・一貫して減少傾向 ・(H17 H24)9.0 7.9	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 0.267 0.291 0.311	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 2.962 3.525 3.932	・H20年に著増、以降ほぼ一定 ・(H17 H20 H24) 79.9 85.6 85.8	・H20年に著減、以降ほぼ一定 ・(H17 H20 H24) 10.2 5.9 5.4	・微減 ・(H17 H20 H24) 9.9 8.4 8.8
	許容値以下の県数	(H17年 H24年) 15県 3県	(H17 H20 H24) 16県 15県 8県	(H17 H20 H24年) 17県 6県 1県	(H17 H20 H24) 13県 7県 4県	(H17 H20 H24) 20県 5県 2県	(H17 H20 H24) 10県 11県 9県
	直近の上位70%下限値	8.4%	0.26%	3.57%	86.9%	6.7%	7.4%
	(参考)現在の許容値	11%以下	0.23%以上	2.5%以上	80%以上	10%以下	10%以下
子宮頸	全国値の推移	・増加傾向 ・(H17 H24)1.2 1.9	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 0.056 0.069 0.074	・H20年に著増、以降著増 ・(H17 H20 H24) 4.626 5.713 3.830	・H20年に著増、以降増加傾向 ・(H17 H20 H24) 62.6 67.9 69.7	・H20年に著減、H21年に一時増加後、減少傾向 ・(H17 H20 H24) 21.4 12.4 12.5	・H20年に著増、H21年以降減少傾向。 (ベースラインよりは高値) ・(H17 H20 H24) 16.1 19.7 17.8
	許容値以下の県数	(H17年 H24年) 15県 35県	(H17 H20 H24) 21県 11県 4県	(H17 H20 H24年) 14県 9県 25県	(H17 H20 H24) 23県 17県 14県	(H17 H20 H24) 11県 5県 2県	(H17 H20 H24) 26県 29県 28県
	直近の上位70%下限値	2.2%	0.07%	3.12%	70.2%	12.6%	20.0%
	(参考)現在の許容値	1.4%以下	0.05%以上	4%以上	70%以上	20%以下	10%以下

平成 28 年 3 月 30 日

**平成 27 年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
結果報告書**

1. 調査の背景

平成 19 年 6 月にがん対策推進基本計画が閣議決定され、がんの早期発見のため「すべての市町村における精度管理・事業評価の実施」が個別目標として掲げられました。また、精度管理・事業評価の指標として「事業評価のためのチェックリスト」^{注1)}が作成され、厚生労働省健康局長通知によって全国に周知されました。

国立がん研究センター検診研究部及び厚生労働省研究班は、平成 21 年度から「事業評価のためのチェックリスト」の実施状況を調査し、全国市区町村の検診実施体制を継続的に把握してきました。今年度は 7 回目の調査を実施しました。

注 1) がん検診に携わる検診機関・市区町村・都道府県が実施すべき最低限の項目が纏められたリスト。厚生労働省がん検診検討会にて項目内容が検討され、厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診の事業評価の在り方について」（平成 20 年 3 月）に掲載されました。

2. 調査の目的

「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」項目の実施状況を調査することにより、検診体制（集団検診、個別検診）の実態や、今後重点的に強化すべき体制面の課題を把握しました。

3. 調査対象

平成 27 年度に、健康増進事業に基づくがん検診（集団/個別検診、胃/大腸/肺/乳/子宮頸がん）を、指針^{注2)}に沿った検査法で行った市区町村を対象としました。

注 2) 厚生労働省健康局長通知「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

4. 調査方法

4-1 調査票

国立がん研究センター検診研究部が、チェックリストに基づいて独自に調査票（電子ファイル）を作成しました。今年度は従来のチェックリスト項目（約 40 項目）に加え、平成 28 年度からチェックリストに追加予定の新規項目（約 20 項目）も試験的に調査しました^{注3)}。

調査票を調査 1 と調査 2 に分け、調査 1 では「平成 27 年度に実施した検診の体制」を、調査 2 では「平成 25 年度の検診結果の集計状況^{注4)}」を把握しました。

各項目への回答は、（確実に実施した）、×（実施しなかった。回答時点では未実施で、その後も実施予定はない）、（実施予定。回答時点では未実施だが、確実な実施予定がある）の 3 択としました。

注 3) 平成 28 年度からの適用をめざし、厚生労働科学研究費補助金「検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班（研究代表者 齋藤博）がチェックリスト改定案を作成しています（現在最終調整中）。改定案はチェックリスト作成時（平成 20 年）以降の指針や学会規約の変更等を反映しており、個別検診の体制も同時に点検できます。なお、今回の調査は改定案の適切性評価（理解しにくい項目や回答しにくい項目が無い）も兼ねています。

注 4) 本調査の回答者である平成 27 年度担当者は、平成 27 年 6 月に「平成 26 年度地域保健・健康増進事業報告（平成 25 年度の検診結果を報告）」を行うため、必然的に平成 25 年度分の検診データを把握できます。この調査では、そのデータをどの程度詳細に集計したか（例えば受診歴別に集計したか、など）を把握します。

4-2 調査票の送付、回収、調査期間

調査票の送付や回収は全て、国立がん研究センターの web サイト「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」を通して行いました。調査期間は、都道府県毎に平成 27 年 7 月 31 日～平成 27 年 12 月 28 日の間でそれぞれ設定を依頼しました^{注5)}。

さらに、（実施予定。回答時点では未実施だが、確実な実施予定がある）と回答した項目については、平成 28 年 1 月 13 日～2 月 19 日に再調査を行い、最終回答を得ました。2 月 19 日の時点（最終回答期限）でも の項目については、 を最終回答として集計しました。

<http://nxc.jp/nccscr-commu/>

注 5) 都道府県によっては、生活習慣病検診等管理指導協議会が行う精度管理調査として本調査を代用しており、がん部会開催(県によって開催時期が異なる)までに本調査を終了する必要があります。

4-3 回答の集計方法

各項目につき全国の実施率(%)^{注6)}を集計しました。実施率は、分子を(確実に実施した)に限定した場合、および、+ (実施予定も含む)にした場合の2種類を集計しました。

注6) 実施していると回答した市区町村数 / 集計対象の全市区町村数 × 100

5. 調査結果

5-1 回収率、集計対象の市区町村数(別添1参照)

調査対象 1737 市区町村(平成 27 年度の全市区町村数)のうち、1592 市区町村から回答を得ました(回収率 91.7%)。また回答のあった市区町村のうち、無効回答(検診未実施、回答未入力等)を除いた 1586 市区町村を集計対象としました(有効回答率 91.3%)。

5-2 実施率(別添2、別添3参照)

5-2-1 2種類の実施率の乖離について

別添2(集団検診)および別添3(個別検診)に、全項目の実施率を各々2種類(分子が:確実に実施した場合、分子が+:実施予定も含めた場合)示しました。両者の乖離は、集団、個別検診ともに、精検受診勧奨(問4-2)、精検結果の確認(問4-1-1)、検診機関での仕様書遵守状況の確認(問7-3)、検診機関へのフィードバック(問8)で大きく、最大で約4ポイントの差がありました。その他の項目では両者の乖離はごく僅かでした。

なお、以下で言及する実施率は、すべて分子を(確実に実施した)に限定したものです。

5-2-2 各項目の実施率について

1) 集団検診の実施率(別添2参照)

主要項目の実施率について、以下に特徴を示します。は今年度から調査を開始した項目です。また実施率は部位により若干異なりますが、高い項目と低い項目の傾向は概ね共通です。

[受診率向上体制について(別添2:問1-1~問1-3)]

- ・ 網羅的な対象者名簿を住民台帳に基づいて作成した(89%)
- ・ 対象者一人ひとりに受診勧奨を行った(48~50%)
- ・ 個人毎に再勧奨を行った(7~8%)

[受診者もしくは要精検者への説明について(別添2:問3-1~問3-4)]

- ・ 受診者に検診の有効性や限界を説明した(22~27%)
- ・ 要精検となったら必ず精検を受けることを説明し(54~58%)、精検内容や方法を説明した(34~39%)
- ・ 検診結果(精検結果を含む)を市町村、検診機関、精検機関が把握(照会)することについて、また、個人情報の取り扱いや守秘義務などについて事前に説明した(51~52%)

[データの記録管理体制について(別添2:問2-2、問2-3、問5-1、問6-2、問6-2-1)]

- ・ 個人別の受診台帳を作成している、もしくは今年新規に作成した(91%)
- ・ 過去3年間の受診歴(91~92%)や精検結果(83~84%)を記録している
- ・ 検診(精検)機関からの報告書が、地域保健・健康増進事業報告の項目を網羅していた(93~94%)
- ・ 検診(精検)機関からの報告書が地域保健・健康増進事業報告を網羅していない場合、当該機関に改善を求めた(28~33%)

[精検受診率向上体制について(別添2:問3-5、問4-1-1、問4-1-3、問4-2、問5-2)]

- ・ 要精検者に受診可能な精検機関名を提示した（59～64％）
- ・ 精検（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精検機関へ照会し結果を確認した（85％）
- ・ 個人毎の精密検査（治療）結果を市町村、検診機関、精検機関が共有した（76～79％）
- ・ 精検未受診者に受診勧奨を行った（86～88％）
- ・ 精検未受診と未把握を正確な定義により分類し、未受診者を特定した（83～84％）

[検診機関の質を担保する体制について（別添2：問7-1～問8-2）]

- ・ 委託検診機関の選定時に仕様書を取り交わし（62～65％）、その仕様書に必要最低限の精度管理項目^{注7）}が記載されていた（43～45％）
- ・ 検診終了後に、仕様書内容が遵守されたかを確認した（30～31％）
- ・ 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックし（19％）、具体的には、チェックリストに基づくフィードバック（14％）、プロセス指標に基づくフィードバック（13～14％）を実施した
- ・ 検診機関に精度管理上の課題をふまえた改善策をフィードバックした（14％）

注7）前述の、厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」別添8に記載があります。

[各精度指標の集計について（別添2：問9-1-1～問18-1）]

精度指標の集計に関する項目群は、いずれも単純把握、性・年齢別集計、検診機関別集計、検診受診歴別集計の順で構成されています。全指標での実施率が最も高く、
、
、
の順に低下していました。なお、検診機関の定義は医師会単位ではなく、実際に検診を実施する個々の医療機関としました。

- ・ 受診者数： 99％、 98％、 96～97％、 88～90％
- ・ 要精検率： 95～96％、 88～89％、 86～88％、 75～76％
- ・ 精検受診率： 93～94％、 86％、 83～84％、 73～74％
- ・ 発見率： 88～89％、 80～81％、 78～80％、 69％
- ・ 陽性反応適中度： 68～69％、 62～63％、 61～63％、 55～56％
- ・ 早期がん割合（子宮頸以外）： 73～75％、 71～73％、 67～69％、 62～64％
- ・ 微小浸潤がん割合（子宮頸）： 64％、 62％、 59％、 57％
- ・ 上皮内病変の区分毎もしくは上皮内がん割合（子宮頸）： 68％、 66％、 63％、 60％
- ・ 粘膜内がん割合（胃、大腸）、非浸潤がん（乳）： 66～67％（
は項目なし）

2) 個別検診の実施率（別添3参照）

項目間の違いについては集団検診と概ね共通でしたが、総じて集団検診より実施率が低く、全項目の実施率では6～10ポイントの乖離がありました（肺がんの乖離が最も大きく、乳・子宮頸は小さい）。

項目別にみると特に下記の項目の乖離が顕著で、最大25ポイントの差が見られました。

- ・ 精検未受診者に勧奨した（問4-2）：集団検診（86～88％）、個別検診（69～77％）
- ・ 個人毎の精検（治療）結果を市町村、検診機関、精検機関が共有した（問5-2）：集団検診（76～79％）、個別検診（56～62％）
- ・ 仕様書に必須の精度管理項目を明記した（問7-2）：集団検診（43～45％）、個別検診（29～36％）
- ・ 精検受診率を検診機関別に把握した（問11-1-2）：集団検診（83～84％）、個別検診（60～67％）
- ・ がん発見率を検診機関別に把握した（問13-1-2）：集団検診（78～80％）、個別検診（53～61％）

なお、集団検診と個別検診の体制に差異が生じにくい項目（対象者名簿の作成、対象者数の把握等）については、実施率の乖離はごく僅かでした。

6.まとめ

本調査の結果より、下記の体制整備が特に今後の重点課題だと考えられます。

- 1) 受診率向上に必要な体制
 - ・個別に受診勧奨、再勧奨を行う
- 2) 精検受診率向上に必要な体制
 - ・要精検者に精検受診の重要性や、精検方法を事前に説明する
 - ・精検未受診者に個別に勧奨する（特に個別検診での課題）
 - ・要精検者に受診可能な精検機関名を提示する
- 3) 精検結果回収に必要な体制
 - ・個人毎の検診（精検）結果を市区町村、検診機関、精検機関が共有する体制を作り、また受診者にその重要性を説明する
- 4) 検診精度向上に必要な体制
 - ・適切な仕様書により委託先検診機関を選定し、仕様書が遵守されたか確認する
 - ・検診機関毎の事業評価をフィードバックする（これは本来都道府県協議会の役割であり、市区町村はフィードバックの内容を共有するだけでも良いと考えます）
 - ・検診機関も必ず精検結果を共有する（自施設の検診精度の検討に必要）
 - ・検診機関別にプロセス指標値を把握する（特に個別検診での課題）
 - ・陽性反応適中度、早期がん割合を集計する（受診歴別、検診機関別）
- 5) 正確な地域保健・健康増進事業報告に必要な体制
 - ・検診（精検）機関からの報告書が不備な場合は改善を求める

今年度、初めて個別検診の体制について全国調査を開始しましたが、全体的に集団検診より体制の不備が目立ち、今後は個別検診を担う地域医師会とどう連携するかも含め、体制作りを急ぐ必要があります。なお今回の調査では、新規に追加した項目の解釈や、検診機関の定義について市区町村担当者から若干の質問があったものの、特に大きな問題点の指摘はなく、これらの適切性に問題は無いと考えます。

最後に、調査の回収率は91.7%とこれまでで最も高く、これはチェックリストの周知が進んできていることを示します。ご回答いただいた市区町村のご担当者、および調査の遂行や回収率向上にご尽力いただいた都道府県のご担当者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

別添 1 平成 27 年度 都道府県別市区町村チェックリスト調査 回収状況

都道府県名	市区町村数	回答数	回収率(%)	有効回答数	集団検診						個別検診					
					有効回答	集計対象市町村					有効回答	集計対象市町村				
						胃	大腸	肺	乳	子宮頸		胃	大腸	肺	乳	子宮頸
全国	1737	1592	91.7	1589	1585	1523	1457	1469	1456	1344	1589	551	793	533	1207	1383
北海道	179	129	72.1	128	128	127	127	127	123	122	128	72	84	75	113	112
青森県	40	40	100	40	40	40	40	40	40	40	40	20	23	15	25	29
岩手県	33	19	57.6	19	19	19	19	19	19	18	19	1	2	2	7	9
宮城県	35	34	97.1	34	34	33	31	33	27	19	34	2	4	2	12	26
秋田県	25	25	100	25	25	25	25	25	25	25	25	6	7	5	19	23
山形県	35	35	100	35	35	35	35	35	34	35	35	4	6	4	19	23
福島県	59	46	78.0	46	46	46	44	46	41	40	46	23	21	19	38	43
茨城県	44	44	100	44	44	44	44	44	44	42	44	5	7	4	39	43
栃木県	25	25	100	25	25	25	25	25	24	23	25	3	8	4	17	21
群馬県	35	35	100	35	35	35	34	29	35	35	35	8	14	3	23	29
埼玉県	63	63	100	63	63	55	42	52	59	35	63	21	47	28	54	63
千葉県	54	54	100	54	54	53	45	50	48	49	54	17	22	17	35	46
東京都	62	46	74.2	46	45	34	23	25	24	9	46	16	37	20	38	43
神奈川県	33	33	100	33	33	28	27	24	31	29	33	14	22	24	29	33
新潟県	30	30	100	30	30	29	29	29	30	28	30	1	4	0	12	26
富山県	15	14	93.3	14	14	14	13	14	14	14	14	12	11	8	13	14
石川県	19	19	100	19	19	19	19	19	19	19	19	6	8	7	12	19
福井県	17	17	100	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
山梨県	27	27	100	27	27	27	27	27	25	14	27	8	11	9	22	26
長野県	77	67	87.0	67	66	59	61	42	60	53	67	8	18	7	40	46
岐阜県	42	42	100	42	42	40	36	40	40	26	42	10	15	8	23	36
静岡県	35	35	100	35	35	32	27	31	28	25	35	18	21	15	29	34
愛知県	54	53	98.1	53	53	45	42	46	44	42	53	42	43	39	47	51
三重県	29	25	86.2	25	25	25	23	25	25	24	25	15	18	13	22	22
滋賀県	19	19	100	19	19	19	15	15	16	15	19	4	11	3	19	19
京都府	26	17	65.4	17	16	15	12	16	13	7	17	1	9	0	8	15
大阪府	43	43	100	43	43	39	39	41	41	36	43	19	39	23	38	42
兵庫県	41	27	65.9	27	27	26	27	26	23	20	27	7	16	12	23	24
奈良県	39	39	100	39	39	37	36	37	32	31	39	14	26	6	34	37
和歌山県	30	30	100	30	30	30	30	30	30	18	30	21	21	19	29	30
鳥取県	19	14	73.7	14	14	14	13	14	13	12	14	6	10	9	13	14
島根県	19	19	100	19	19	19	16	18	19	19	19	2	8	3	14	19
岡山県	27	27	100	27	27	26	27	27	27	27	27	12	12	8	22	22
広島県	23	23	100	23	23	23	23	23	23	23	23	16	18	17	23	23
山口県	19	19	100	19	19	19	19	19	16	17	19	15	14	11	18	18
徳島県	24	23	95.8	23	23	23	20	23	21	13	23	8	18	3	23	23
香川県	17	17	100	17	17	16	15	17	17	17	17	9	8	3	14	14
愛媛県	20	19	95.0	19	19	19	19	19	19	19	19	1	2	1	9	14
高知県	30	30	100	30	30	30	30	30	27	29	30	3	4	4	20	21
福岡県	60	56	93.3	56	56	56	53	53	54	55	56	7	24	10	41	45
佐賀県	20	20	100	20	20	20	20	20	20	20	20	2	3	2	13	17
長崎県	21	21	100	20	20	20	19	20	19	19	20	8	13	12	18	19
熊本県	45	44	97.8	43	43	43	43	43	42	42	43	11	20	12	33	35
大分県	18	18	100	18	18	18	18	18	18	18	18	9	12	10	18	18
宮崎県	26	26	100	26	26	25	26	13	23	25	26	9	10	1	20	22
鹿児島県	43	43	100	43	43	43	42	43	38	43	43	2	8	2	22	25
沖縄県	41	41	100	41	40	37	40	40	29	36	41	16	17	17	30	33

別添2 平成27年度 チェックリスト実施率(集団検診)

単位 %

	胃がん ^{注1}		大腸がん ^{注1}		肺がん ^{注1}		乳がん ^{注1}		子宮頸がん ^{注1}	
	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)
全項目(現行チェックリストと同様の36~40項目) ^{注2}	79.4	79.6	79.2	79.3	79.4	79.6	78.5	78.7	77.2	77.3
調査1 平成27年度の検診実施体制について ^{注2}										
1. 検診対象者										
問1-1* 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか	88.8	88.9	88.9	88.9	89.1	89.1	88.9	89.2	89.1	89.1
問1-2* 対象者に均等に受診勧奨を行っているか	48.3	48.5	49.1	49.2	48.7	48.7	48.6	48.9	49.6	49.8
問1-3 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行っているか	7.6	7.6	7.4	7.5	7.3	7.4	6.6	7.0	7.1	7.1
2. 受診者の情報管理										
問2-1* 対象者数(推計含む)を把握しているか	95.6	95.7	95.5	95.6	95.7	95.7	95.5	95.7	95.8	95.8
問2-2* 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	91.1	91.2	90.7	90.8	91.3	91.3	91.1	91.4	90.7	90.8
問2-3* 過去3年間の受診歴を記録しているか	91.3	91.6	90.9	91.1	91.4	91.5	91.5	91.8	91.2	91.3
3. 受診者もしくは要精検者への説明										
問3-1 検診の有効性・限界について事前に説明しているか	24.5	24.7	25.1	25.3	22.3	22.3	26.8	27.4	25.2	25.5
問3-2 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることについて事前に説明しているか	56.7	56.9	56.4	56.6	53.7	53.8	58.2	58.9	57.9	58.3
問3-3 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか	36.8	37.0	39.3	39.5	33.8	33.8	37.2	37.9	36.5	37.0
問3-4 検診結果(精検結果を含む)を市町村、検診機関、精密検査機関が把握(照会)することについて、また、個人情報取り扱い、守秘義務などについて事前に説明しているか	52.4	52.6	50.9	51.0	51.3	51.4	52.1	52.7	52.3	52.8
問3-5 要精検者に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)を提示しているか	59.0	59.2	62.4	62.5	59.2	59.3	64.3	65.0	58.9	59.3
4. 精密検査結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨										
問4-1* 精密検査結果及び治療の結果を把握しているか	96.2	96.9	96.2	97.0	96.1	96.9	96.0	97.0	96.0	97.0
問4-1-1 精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への問い合わせにより結果を確認しているか	84.9	86.8	85.2	87.6	85.1	87.0	85.2	87.4	85.3	87.8
問4-1-2* 精密検査の検査方法を把握しているか	86.7	87.5	86.5	87.5	85.9	86.7	86.2	87.6	85.2	86.5
問4-1-3 精検未受診と精検未把握を区別し、精検未受診者を特定しているか	82.6	83.9	82.8	84.4	83.1	84.5	83.0	84.5	84.0	85.4
問4-2* 精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか	86.6	88.8	86.4	88.7	86.7	89.0	87.6	90.0	88.4	90.7
5. 精密検査結果の記録、共有										
問5-1* 過去3年間の精密検査結果を記録しているか	83.1	83.5	82.6	83.0	83.2	83.5	83.5	84.2	82.8	83.3
問5-2 個人毎の精密検査(治療)結果を市町村、検診機関、精密検査機関が共有しているか	79.1	80.0	76.0	77.1	78.1	79.0	78.6	80.1	79.2	80.6
6. がん検診集計の報告										
問6-1* がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか	99.5	99.9	99.5	99.8	99.5	99.7	99.6	99.9	99.6	99.9
問6-2 検診機関/精検機関からの報告(検診結果/精検結果報告書)が、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目すべてを網羅しているか	93.4	93.6	92.5	92.8	93.1	93.3	93.4	93.6	93.8	94.0
問6-2-1 ^{注3} (問6-2が×の場合)網羅できていない場合は検診機関や精検機関に改善を求めているか	32.0	32.0	33.3	33.3	32.3	32.3	30.1	30.1	28.4	28.4
7. 検診機関、精密検査機関への委託										
問7-1* 委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか	65.1	65.2	62.3	62.5	63.9	64.0	64.5	64.8	63.4	63.7
問7-2* 仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか	45.2	45.4	43.4	43.6	45.2	45.3	45.0	45.3	45.2	45.5
問7-2-1 精密検査機関(医療機関)に対し、精密検査(治療)結果を市町村(もしくは検診機関)へ報告するよう求めているか	90.0	90.2	89.6	89.9	90.0	90.3	89.8	90.3	89.7	90.1
問7-3 検診終了後に委託先検診機関で仕様書内容が実際に遵守されたかを確認しているか	30.6	33.3	29.8	32.5	30.3	33.0	29.7	33.2	29.7	33.0
8. 検診機関へのフィードバック(課題の共有)										
問8-1 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしているか	19.1	21.0	18.7	20.7	19.2	21.2	18.9	21.2	18.6	20.7
問8-1-1 検診機関の「検診機関用チェックリスト(3)遵守状況」の評価を個別にフィードバックしているか	14.2	16.0	14.1	16.0	14.3	16.2	13.9	16.1	14.3	16.3
問8-1-2 検診機関のプロセス指標値の評価を個別にフィードバックしているか	13.6	15.4	13.3	15.1	14.0	15.7	13.5	15.5	13.8	15.6
問8-2 検診機関に精度管理上の課題をふまえた改善策をフィードバックしているか	14.2	16.0	14.3	16.1	14.4	16.2	13.9	15.9	14.4	16.1
調査2 平成25年度の検診・精検結果の集計について ^{注2}										
9. 受診者数の把握										
問9-1 受診者数を把握しているか	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4
問9-1-1* 受診者数を性別・年齢階級別に把握しているか	98.2	98.2	98.1	98.1	98.1	98.1	98.3	98.3	98.2	98.2
問9-1-2* 受診者数を検診機関別に把握しているか	96.1	96.1	96.3	96.3	96.4	96.4	96.7	96.7	96.1	96.1
問9-1-3* 受診者数を検診受診歴別に把握しているか	88.4	88.4	88.3	88.3	88.7	88.7	89.5	89.5	89.1	89.1
10. 要精検率の把握										
問10-1* 要精検率を把握しているか	95.3	95.3	95.2	95.2	95.3	95.3	95.7	95.7	95.2	95.2
問10-1-1* 要精検率を性別・年齢階級別に把握しているか	88.2	88.2	88.3	88.3	87.9	87.9	88.7	88.7	87.9	87.9
問10-1-2* 要精検率を検診機関別に把握しているか	86.7	86.7	87.2	87.2	86.7	86.7	87.6	87.6	86.4	86.4
問10-1-3* 要精検率を検診受診歴別に把握しているか	75.4	75.4	75.6	75.6	75.8	75.8	75.7	75.7	75.7	75.7
11. 精検受診率の把握										
問11-1* 精検受診率を把握しているか	93.4	93.4	93.2	93.2	93.7	93.7	93.9	93.9	93.1	93.1
問11-1-1* 精検受診率を性別・年齢階級別に把握しているか	85.6	85.6	85.6	85.6	85.6	85.6	86.2	86.2	85.5	85.5
問11-1-2* 精検受診率を検診機関別に把握しているか	83.2	83.2	83.4	83.4	83.3	83.3	84.2	84.2	82.9	82.9
問11-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に把握しているか	73.2	73.2	73.4	73.4	73.4	73.4	73.6	73.6	73.6	73.6
12. 精検未受診率の把握										
問12-1* 精検未受診率を把握しているか	83.8	83.9	83.9	84.1	84.2	84.4	84.2	84.4	83.9	84.0
13. がん発見率の把握										
問13-1* がん発見率を把握しているか	88.0	88.0	87.6	87.6	87.8	87.8	88.7	88.7	88.0	88.0
問13-1-1* がん発見率を性別・年齢階級別に把握しているか	80.2	80.3	80.3	80.3	80.1	80.2	80.9	80.9	80.5	80.5
問13-1-2* がん発見率を検診機関別に把握しているか	78.6	78.6	78.5	78.5	78.2	78.2	79.6	79.6	78.7	78.7
問13-1-3* がん発見率を検診受診歴別に把握しているか	68.7	68.7	68.7	68.7	68.6	68.6	68.8	68.8	68.9	68.9
問13-1-4** がん発見率を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	70.6	70.6	73.4	73.4	-	-

	胃がん ^{注1}		大腸がん ^{注1}		肺がん ^{注1}		乳がん ^{注1}		子宮頸がん ^{注1}	
	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)
14. 陽性反応適中度の把握										
問 14-1* 陽性反応適中度を把握しているか	68.8	68.8	68.2	68.2	68.3	68.3	69.4	69.4	67.7	67.7
問 14-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に把握しているか	62.1	62.2	61.7	61.8	61.6	61.7	62.6	62.7	61.5	61.6
問 14-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に把握しているか	62.0	62.0	61.3	61.3	61.4	61.4	62.8	62.8	61.3	61.3
問 14-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に把握しているか	55.2	55.2	54.8	54.8	55.0	55.0	55.6	55.6	55.3	55.3
問 14-1-4** 陽性反応適中度を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	55.7	55.7	58.6	58.6	-	-
15. 早期がん割合の把握										
問 15-1* 早期がん割合を把握しているか	75.4	75.5	75.0	75.1	72.9	73.0	74.3	74.4	-	-
問 15-1-1* 早期がん割合を性別・年齢階級別に把握しているか	72.9	73.0	72.7	72.7	70.7	70.8	71.9	72.0	-	-
問 15-1-2* 早期がん割合を検診機関別に把握しているか	69.1	69.1	69.0	69.1	67.1	67.2	68.5	68.6	-	-
問 15-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に把握しているか	64.1	64.1	64.2	64.2	62.3	62.3	63.4	63.4	-	-
問 15-1-4** 早期がん割合を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	61.1	61.2	62.9	62.9	-	-
16. 粘膜内がん、非浸潤がんの把握										
問 16-1* (胃・大腸) 粘膜内がんを把握しているか (乳) 非浸潤がんを把握しているか	67.4	67.5	66.2	66.3	-	-	65.9	66.0	-	-
17. 上皮内病変数/上皮内がん割合の把握										
問 17-1* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	68.0	68.0
問 17-1-1* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を年齢階級別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	66.3	66.3
問 17-1-2* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を検診機関別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	63.4	63.4
問 17-1-3* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を検診受診歴別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	60.0
18. 微小浸潤がんの把握										
問 18-1* 微小浸潤がん割合を把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	63.5	63.5
問 18-1-1* 微小浸潤がん割合を年齢階級別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	62.1	62.1
問 18-1-2* 微小浸潤がん割合を検診機関別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	59.4	59.4
問 18-1-3* 微小浸潤がん割合を検診受診歴別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	56.7	56.7

* 現行のチェックリスト

** 現行のチェックリストは乳がんのみ。

注1 実施率(実施分) : 「(実施した)」と回答した市区町村の実施率

実施率(実施予定含む) : 「(実施した)」および「(実施予定)」と回答した市区町村の実施率

注2 (1) 全項目の実施率: 調査1、調査2 共に回答対象だった市区町村を基に算出

(2) 調査1 項目別実施率: 調査1 が回答対象だった市区町村(調査2 が回答対象外の市区町村を含む)を基に算出

(3) 調査2 項目別実施率: 調査1、調査2 共に回答対象だった市区町村(調査1 が回答対象外の市区町村は除く)を基に算出

注3 実施率算出時の分母は、問6-2に「x」と回答した市区町村

別添3 平成27年度 チェックリスト実施率(個別検診)

単位 %

	胃がん ^{注1}		大腸がん ^{注1}		肺がん ^{注1}		乳がん ^{注1}		子宮頸がん ^{注1}	
	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)
全項目(現行チェックリストと同様の36~40項目) ^{注2}	70.8	71.0	71.8	72.1	69.7	69.9	72.2	72.4	71.6	71.8
調査1 平成27年度の検診実施体制について ^{注2}										
1. 検診対象者										
問1-1* 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか	87.5	87.5	88.0	88.0	86.7	86.7	89.1	89.2	88.9	88.9
問1-2* 対象者に均等に受診勧奨を行っているか	41.0	41.0	40.1	40.1	40.5	40.5	46.2	46.4	46.1	46.2
問1-3 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行っているか	4.0	4.0	4.3	4.3	2.8	2.8	7.1	7.5	7.2	7.5
2. 受診者の情報管理										
問2-1* 対象者数(推計含む)を把握しているか	95.3	95.3	96.0	96.0	95.3	95.3	95.5	95.6	95.9	96.0
問2-2* 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	90.2	90.2	90.9	91.0	89.1	89.1	91.1	91.2	91.3	91.5
問2-3* 過去3年間の受診歴を記録しているか	90.6	90.7	90.2	90.4	88.4	88.9	90.7	91.1	91.3	91.6
3. 受診者もしくは要精検者への説明										
問3-1 検診の有効性・限界について事前に説明しているか	15.4	15.4	18.9	18.9	15.8	15.8	18.5	18.6	19.2	19.5
問3-2 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることについて事前に説明しているか	49.4	49.4	50.8	50.8	47.1	47.1	48.0	48.1	48.8	49.2
問3-3 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか	29.9	29.9	31.0	31.0	28.0	28.0	29.7	29.8	29.4	29.6
問3-4 検診結果(精検結果を含む)を市町村、検診機関、精密検査機関が把握(照会)することについて、また、個人情報取り扱い、守秘義務などについて事前に説明しているか	47.9	47.9	47.3	47.3	46.7	46.7	44.1	44.2	44.7	45.0
問3-5 要精検者に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)を提示しているか	37.7	37.7	47.4	47.4	38.5	38.5	49.7	49.8	45.3	45.6
4. 精密検査結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨										
問4-1* 精密検査結果及び治療の結果を把握しているか	86.8	88.0	88.7	89.9	86.3	87.4	89.1	89.7	89.4	90.5
問4-1-1 精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への問い合わせにより結果を確認しているか	75.0	77.5	77.6	80.1	75.2	76.9	78.8	81.3	79.3	82.0
問4-1-2* 精密検査の検査方法を把握しているか	77.0	78.0	80.6	81.8	77.7	78.6	79.1	80.4	78.9	80.5
問4-1-3 精検未受診と精検未把握を区別し、精検未受診者を特定しているか	75.3	77.0	76.2	77.7	73.2	74.3	76.9	78.6	77.7	79.5
問4-2* 精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか	68.6	72.1	72.1	75.7	68.7	71.3	75.8	78.7	76.8	79.8
5. 精密検査結果の記録、共有										
問5-1* 過去3年間の精密検査結果を記録しているか	79.9	80.0	80.7	81.2	78.0	78.4	80.9	81.4	81.0	81.6
問5-2 個人毎の精密検査(治療)結果を市町村、検診機関、精密検査機関が共有しているか	57.0	57.9	58.1	59.1	55.9	56.5	60.2	61.1	61.9	63.0
6. がん検診集計の報告										
問6-1* がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか	98.4	98.4	98.4	98.6	98.1	98.1	98.9	99.3	98.8	99.3
問6-2 検診機関/精検機関からの報告(検診結果/精検結果報告書)が、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目すべてを網羅しているか	85.8	85.8	86.4	86.5	84.8	84.8	86.7	87.0	87.4	87.8
問6-2-1 ^{注3} (問6-2が×の場合)網羅できていない場合は検診機関や精検機関に改善を求めているか	19.2	20.5	17.9	18.9	19.8	21.0	18.5	19.1	20.7	21.3
7. 検診機関、精密検査機関への委託										
問7-1* 委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか	56.6	56.6	58.0	58.1	56.5	56.5	58.5	58.6	58.9	58.9
問7-2* 仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか	29.0	29.2	31.7	31.9	29.3	29.5	33.6	33.8	35.9	36.1
問7-2-1 精密検査機関(医療機関)に対し、精密検査(治療)結果を市町村(もしくは検診機関)へ報告するよう求めているか	81.7	81.9	84.2	84.6	82.0	82.2	83.5	83.7	83.6	83.8
問7-3 検診終了後に委託先検診機関で仕様書内容が実際に遵守されたかを確認しているか	19.6	22.1	21.6	24.3	18.6	21.2	22.1	25.0	23.7	26.8
8. 検診機関へのフィードバック(課題の共有)										
問8-1 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしているか	7.8	8.9	10.3	11.6	9.9	10.9	9.9	11.7	10.6	12.7
問8-1-1 検診機関の「検診機関用チェックリスト(3)遵守状況」の評価を個別にフィードバックしているか	3.3	4.0	5.2	6.4	3.6	4.3	5.6	7.3	6.7	8.8
問8-1-2 検診機関のプロセス指標値の評価を個別にフィードバックしているか	5.3	6.2	6.7	7.8	5.3	5.8	7.1	8.6	7.2	9.0
問8-2 検診機関に精度管理上の課題をふまえた改善策をフィードバックしているか	3.6	4.7	5.4	6.9	3.8	4.9	6.0	7.9	6.9	8.7
調査2 平成25年度の検診・精検結果の集計について ^{注2}										
9. 受診者数の把握										
問9-1 受診者数を把握しているか	99.0	99.0	98.9	98.9	98.8	98.8	99.1	99.1	99.2	99.2
問9-1-1* 受診者数を性別・年齢階級別に把握しているか	97.9	97.9	97.7	97.7	97.6	97.6	98.1	98.1	98.0	98.0
問9-1-2* 受診者数を検診機関別に把握しているか	87.5	87.5	87.2	87.2	86.1	86.1	89.2	89.2	87.9	87.9
問9-1-3* 受診者数を検診受診歴別に把握しているか	82.6	82.6	83.0	83.0	81.3	81.3	84.7	84.7	85.7	85.7
10. 要精検率の把握										
問10-1* 要精検率を把握しているか	92.7	92.7	93.4	93.4	92.3	92.3	94.0	94.0	93.9	93.9
問10-1-1* 要精検率を性別・年齢階級別に把握しているか	82.6	82.6	83.5	83.5	82.9	82.9	86.1	86.1	86.7	86.7
問10-1-2* 要精検率を検診機関別に把握しているか	67.0	67.0	65.8	65.8	65.7	65.7	71.8	71.8	69.8	69.8
問10-1-3* 要精検率を検診受診歴別に把握しているか	66.2	66.2	66.1	66.1	64.3	64.3	70.4	70.4	71.2	71.2
11. 精検受診率の把握										
問11-1* 精検受診率を把握しているか	87.8	87.8	89.8	89.8	87.5	87.5	90.0	90.0	90.0	90.0
問11-1-1* 精検受診率を性別・年齢階級別に把握しているか	77.8	77.8	79.4	79.4	78.0	78.0	81.5	81.5	82.3	82.3
問11-1-2* 精検受診率を検診機関別に把握しているか	61.2	61.2	61.4	61.4	59.9	59.9	67.1	67.1	65.7	65.7
問11-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に把握しているか	62.5	62.5	63.3	63.3	60.3	60.3	66.8	66.8	67.7	67.7
12. 精検未受診率の把握										
問12-1* 精検未受診率を把握しているか	76.4	76.6	77.5	77.7	74.6	74.8	79.1	79.1	79.7	79.9
13. がん発見率の把握										
問13-1* がん発見率を把握しているか	81.9	81.9	83.9	83.9	80.4	80.4	83.6	83.6	84.0	84.0
問13-1-1* がん発見率を性別・年齢階級別に把握しているか	71.6	71.6	72.9	72.9	71.0	71.0	74.2	74.2	76.1	76.1
問13-1-2* がん発見率を検診機関別に把握しているか	55.4	55.4	55.6	55.6	53.2	53.2	60.4	60.4	60.7	60.7
問13-1-3* がん発見率を検診受診歴別に把握しているか	57.1	57.1	57.7	57.7	54.0	54.0	61.1	61.1	63.2	63.2
問13-1-4** がん発見率を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	59.9	59.9	66.2	66.2	-	-

	胃がん ^{注1}		大腸がん ^{注1}		肺がん ^{注1}		乳がん ^{注1}		子宮頸がん ^{注1}	
	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)	実施率 (実施分)	実施率 (実施予定 含む)
14. 陽性反応適中度の把握										
問 14-1* 陽性反応適中度を把握しているか	62.4	62.4	65.0	65.0	60.3	60.3	64.9	64.9	65.8	65.8
問 14-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に把握しているか	53.7	53.7	56.5	56.5	52.2	52.2	57.4	57.5	59.1	59.1
問 14-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に把握しているか	43.1	43.1	44.8	44.8	41.1	41.1	48.1	48.1	48.1	48.1
問 14-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に把握しているか	44.0	44.0	46.3	46.3	41.9	41.9	49.7	49.7	51.4	51.4
問 14-1-4** 陽性反応適中度を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	44.4	44.4	53.0	53.0	-	-
15. 早期がん割合の把握										
問 15-1* 早期がん割合を把握しているか	69.3	69.3	71.4	71.4	64.5	64.5	68.6	68.7	-	-
問 15-1-1* 早期がん割合を性別・年齢階級別に把握しているか	65.3	65.3	67.6	67.6	61.3	61.3	65.8	65.9	-	-
問 15-1-2* 早期がん割合を検診機関別に把握しているか	51.9	51.9	51.9	51.9	49.2	49.2	53.5	53.6	-	-
問 15-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に把握しているか	54.2	54.2	55.2	55.2	50.0	50.0	56.5	56.5	-	-
問 15-1-4** 早期がん割合を検査方法別に把握しているか	-	-	-	-	51.2	51.2	56.2	56.2	-	-
16. 粘膜内がん、非浸潤がんの把握										
問 16-1* (胃・大腸) 粘膜内がんを把握しているか (乳) 非浸潤がんを把握しているか	61.0	61.0	61.6	61.6	-	-	59.1	59.1	-	-
17. 上皮内病変数/上皮内がん割合の把握										
問 17-1* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	62.8	62.8
問 17-1-1* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を年齢階級別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	61.2	61.2
問 17-1-2* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を検診機関別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	50.1	50.1
問 17-1-3* 上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合を検診受診歴別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	54.1	54.1
18. 微小浸潤がんの把握										
問 18-1* 微小浸潤がん割合を把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	58.9	58.9
問 18-1-1* 微小浸潤がん割合を年齢階級別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	57.4	57.4
問 18-1-2* 微小浸潤がん割合を検診機関別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	47.2	47.2
問 18-1-3* 微小浸潤がん割合を検診受診歴別に把握しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	51.2	51.2

* 現行のチェックリスト

** 現行のチェックリストは乳がんのみ。

注1 実施率(実施分) : 「(実施した)」と回答した市区町村の実施率

実施率(実施予定含む) : 「(実施した)」および「(実施予定)」と回答した市区町村の実施率

注2 (1) 全項目の実施率: 調査1、調査2 共に回答対象だった市区町村を基に算出

(2) 調査1 項目別実施率: 調査1 が回答対象だった市区町村(調査2 が回答対象外の市区町村を含む)を基に算出

(3) 調査2 項目別実施率: 調査1、調査2 共に回答対象だった市区町村(調査1 が回答対象外の市区町村は除く)を基に算出

注3 実施率算出時の分母は、問6-2に「x」と回答した市区町村